

箱根組ニュース

第283号 2016年 6月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

大滝不動から登った甲州高尾山・棚横手山の尾根にさわやかな高原の風が吹いていた！

5月15日（日）、京王線新宿駅発7時8分の特急京王八王子行きに乗車。北野で高尾山口行きに乗り換え高尾駅に7時56分着。8時7分発のJR中央本線普通甲府行きに乗り換える。勝沼ぶどう郷駅に9時10分着。

先月も降りた駅のホームだが、今日は快晴の青空。絶景の温泉を楽しんだ、こんもりとしたぶどうの丘も目の前に見える。

降り立ったのは、川名夫妻、有倉、神山、神吉、和田、星野（絵）、戸丸の8名。

身支度をして、タクシー2台に分乗し大滝不動尊に向かう。車はぐんぐん高度を上げて標高900mの大滝不動尊山門前に到着。大瀧山と書いてある真つ赤な山門が立派だ。ここで準備運動をする。

9時57分、歩きだす。山門をくぐり杉木立を抜けると、長い急な石段が始まる。右側には名前にふさわしい滝が急な崖を落ちている。この滝は前滝と言うらしい。新緑がまぶしい。落石注意の看板

もある。2年前の大雪の時に落石が多く発生したとの事。

階段横には白いヒメウツギの花が沢山咲いていた。

10時1分、社務所の前に到着。目の前の階段を上ると立派な大滝不動尊に到着。（本堂の左奥の崖には滝が流れていて男滝というらしい。）本堂は新しく建てられたようで真つ赤な色が際立っていた。一日の安全を祈る。

10時5分、本堂右側から赤い橋を渡って右側の山道を登ってゆく。少し登ってゆくと高度が上がり、すぐに赤く映える本堂を木々越しに真上から見ることができた。

10時7分小さな祠がある。奥の院だろうか。ピンクのヤマツツジが満開だ。自然林の中をゆつくり登ってゆく。

10時20分、峠ともいえる子尾根に出る。小休止。標識によると右展望台とある。見ると東屋のようなものが見えている。正面は甲州高尾山とあるが、左鋭角方向の富士見台に向かう。



10時35分、星野（絵）さんが体調がすぐれないようで残念ながらここで撤退することになった。（タクシーを使って無事に下山を確認）

7名になり再出発。広い林道を進む。地図には林道崩落に注意とあったが危険もなく無事に登山道の入口にたどり着く。

10時42分、林道から右の登山道へと登ってゆく。

10時52分、富士見台に到着。残念ながらガスがかかって富士は見えなかったが尾根の見晴らしは最高でいい気分だ。小休止。尾根を右に行けば甲州高尾山、左は棚横手だ。左の棚横手に向かって登ってゆく。

この山は何度も山火事に見舞われたように東側の斜面は大きな木々がほとんどない。植林している木もまだ小さいものが多い。しかしそれが幸いしてとても景色が開けていて気持ちがいい。

現在の収支	
繰越収入	36365 円 0 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	34965 円

切手残数
82円切手
162枚

陽ざしを背に受ける。夏の暑い。暑いくらいの夏のような感じ。

ってゆく。しかし尾根に吹く風はそれと反対にとっても気持ちがいい。1100mほどの富士見台から徐々に高度を上げてゆく。足元に小さな薄紫のリンドウがチラホラ咲いている。

11時10分、急な坂を越えるといったん林道に出る。林道を横切って登山道を登ってゆく。振り返ると甲府方面の街並みが霧の中に見える。ずいぶん高度が上がってきた。少し下つてもう一度上る。

11時29分山頂着。右側に大富士見台という看板。左側に棚横手山1306m（山梨百名山）とある。1300mに吹く風が気持ちいい。

11時44分、下山開始。来た道を戻り甲州高尾山を目指す。景色を見下ろしながら下つてゆくのは快適だ。小さなアップダウンを繰り返しながらやさしい尾根道を進む。

集合 6月19日（日）西武池袋駅
7:35発 急行飯能行き（前から3両目）
途中駅発
石神井公園7:45 ひばりヶ丘7:50 所沢8:00
西所沢8:03 小手指8:06 狭山ヶ丘8:08
武蔵藤沢8:10 稲荷山公園8:13 入間市8:15
仏子8:19 元加治8:21
飯能 8:24着（バス乗換）8:55発
名郷行き さわらびの湯 9:36着
交通費
池袋～飯能 往復 940円
バス飯能～さわらびの湯往復 1240円

6月19日（日）は名栗湖で天ぷらです。
ラクダコース 歩行2時間位
飯能からバスでさわらびの湯まで、ここから歩いて名栗湖の湖畔から白谷沢まで行き天ぷらパーティーです。
※お弁当は入りません。うどん・そばを作ります。
※希望者は帰りにさわらびの湯で入浴可。
○持ち物 ポットにお湯、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ（予備電池）、地図、筆記用具、救急薬品（三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど）、健康保険証、ビニール袋、ちり紙（ロールペーパー）、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他、山と高原地図登山装備表などを参考に。

●申し込みは6月17日（金）までに

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066
携帯メール：satorutomaru@gmail.com
メール：tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ
http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

1時、甲州高尾山（1106m）に到着。空腹をこらえて頑張って到着した。

山頂は狭く、二人ほど先客がいて日陰がないので少し戻ったところで昼食。川名さんが持参してくれた冷えたビールが何物にも代えがたい最高の贅沢だ。神吉さんのいつもの梅酒もやはりおいしい。持ち寄りの料理で豪華な昼食。撤退したえりちゃんのそうめんサラダもおいしかった。

2時20分、出発。2時24分、1091mの剣ヶ峰。三角点はここにある。2時27分、消防無線のアンテナ基地を通過。すぐ下の舗装道路を横切ると柏尾山、大善寺の標識に沿って下ってゆく。急に下り、また登りもある。平坦になる



と今度は緑濃い草地の林も通過する。変化を楽しみながら下ってゆく。カラマツの新緑も美しい。
3時25分、鉄

塔の下に到着。どうやらここが柏尾山らしい。アカシヤの花が咲いている。花を取って香りを楽しむ。いい香りだ。ここからまた急な下りになる。眼下に甲州街道と中央高速が見えてくる。

3時55分、ブドウ畑の縁に到着。小休止。4時4分、かなり頑丈な獣用の柵を（有害獣対策電気柵）をしっかりと閉めて降りてゆく。（タクシーの運転手さんによるとイノシシ、鹿、サル等の被害を防がないとやっていけないとの事、苦労がうかがえる。）

突然、森が緑のトンネル状になりとても美しい。疲れた体を癒してくれる。

4時7分、五所大神社着。神輿が中に鎮座していた。

4時15分、甲州街道に出る。右方向が勝沼の駅だが左にでてJR中央本線の大日影トンネルの遊歩道を歩こうということになった。（平成9年まで中央本線の下り線で使っていたトンネルだ）甲州街道を少し行き信号を左に曲がって20分ほどでトンネルの入り口に着くはずだった。7分ほど歩いた左側のブドウ畑で作業をしているご婦人に何気なく話しかけ遊歩道のトンネルはこちらですかと聞くと「今、通行止めになっているようです」との事。地元の人には声をかけるものだねと言いながら元に

戻る。

4時30分、大善寺。寺を過ぎて道は甲州街道をそれて右の坂道に登ってゆく。ここからのぶどう畑沿いの道が疲れた体にとっても長く感じた。しかし見渡す限りのぶどう畑は圧巻だ。さすがぶどう郷という感じだ。大通りをかわしたり合流したりしながら駅に向かってゆく。

しかし、心はどこかにビールを売っている店はないかなと思いつながら。

5時10分頃、ようやく勝沼ぶどう郷駅に到着。

5時25分発の各駅停車があるはずだと駅に入ると、「5時9分発の遅れているホリデー快速ビューやまなし号が間もなく到着します」とのアナウンス。もしや甲斐駒の帰りに乗ったあの二階建て車両のあの特急使用の電車？ 先頭車両の二階席にうまく座れて、乗り換えなしで新宿に7時頃着き、駅前で美味しいビールで乾杯しました。

2016年これからの予定

7月23日(土) 場所未定

8月20日、21日(土日一泊)

伊東の海ツアー

9月16日(金) ～19日(月)

北アルプス・白馬岳3泊4日

